

編集後記

本学初めての紀要を発行いたします。著者の先生方にはお忙しい折、予想を超える件数の原稿が集まり、喜びにたえません。本学の紀要の特徴は、論文や研究ノートなどの通常の学術文献に加え、教育ノートや研究資料などの展開を重視し、教員の外部発信の機会を多様化していくことを目指しています。学会などの学術論文誌は伝統的な枠組みから有する価値がありますが、大学の紀要は、大学からの情報発信として学術論文と異なる範囲でその存在価値が見込まれると考えています。

今回も、論文に加え、研究ノートとして新しい研究の試みや構想が発表されています。また、教育ノートは授業での実践的な活動データの記録や報告が発表されています。また総説では開学に当たり検討してきた計算機設備やネットワーク環境などの考察が解説されています。このような著述を元に、内外の議論が活性化し、教育研究のさらなる発展や展開が進んで行くことが期待できます。

本学は専門職大学として学生は卒業まで600時間もの実習時間があり、この間企業からの実践的な刺激が与えられ、現在の産業に取り組む力や、将来のイノベーションを考える力が醸成されていくのが、目の当たりに体感することができるようになってきており、実習の有効性が認識され始めています。この実習に関する著述も今後増えていくことが期待されます。若者の産業に貢献する力や意欲を向上させることは、東京国際工科専門職大学の目指すところではありますが、本学紀要が、このような観点を重視した上で、学会論文誌とは異なる自由な形で情報発信を続けることで、其の目的が少しずつ今後も実現されて行くことを祈念しております。

編集委員 大関和夫

著作権について：

本紀要に掲載する著作物の著作権は、各著者に帰属します。ご利用にあたっては、著作権法を遵守して行って下さい。